

## IV. 疾患

# 1. 心房細動の脳卒中リスクの男女差



富山県済生会富山病院院長 井上 博 (Inoue, Hiroshi)

### THROMBOSIS and Circulation

#### § 論文のポイント

- [1] 多くの疾患に性差がみられるように心房細動にも性差がみられる。有病率は一般に男性の方が高く、抗不整脈やアブレーション治療を受ける率も男性の方が高い。
- [2] 塞栓症の危険因子(うっ血性心不全, 高血圧, 年齢 $\geq$  75 歳, 糖尿病, 脳梗塞・一過性脳虚血発作)は女性で多くみられる。
- [3] そのため CHADS<sub>2</sub> スコアは女性で高く, 多くの報告で血栓塞栓症, 脳梗塞の発生率は女性(とくに高齢女性)が高いことが示されている。
- [4] J-RHYTHM Registry では, 血栓塞栓症(脳梗塞, 一過性脳虚血発作, 末梢動脈塞栓症)の発生率は男性が高い傾向を示した(有意差なし)。
- [5] 海外の報告で女性は塞栓症リスクが高いが, それは高齢女性( $\geq$  75 歳)の場合であり, 高齢( $\geq$  75 歳)そのものが塞栓症リスクになるので, 「女性」のみを取り上げて塞栓症リスクにしなくてもよいと思われる。

#### § キーワード

血栓塞栓症 / 危険因子 / CHADS<sub>2</sub> / CHA<sub>2</sub>DS<sub>2</sub>-VASc / 出血